

RSウイルス感染症の検査について

【届出に必要な検査所見】

- ★分離・同定による病原体の検出（PCR法）
- ★迅速診断キットによる病原体の抗原の検出（抗原キット）
- ★中和反応又は補体結合反応による抗体の検出（抗体検査）

⇒かつては臨床診断もできず、確定の方法がなかったが、**現在は3種類の検査方法**あり

※2018年の感染研の報告では、設備等の観点から日常臨床の場での使用は非現実的とされていたPCR法だが、コロナ禍を経て現在はメジャーな検査方法の1つとなっている。
（感度が高く、必ずしも活性あるウイルスの感染状態を反映しない可能性を考慮）